



凡事徹底で子どもたちの成長を実感

校長 小川 泰文

梅雨のある日、子どもたちが登校した後の玄関で、ふと傘立てに目が留まりました。全員の傘が丁寧に巻かれ、整然と立てられていたからです。

傘を使ったら、ただ閉じるだけでなく、雨水を落とし、ベルトで留めてから傘立てにしまう。当たり前なのですが、これを毎日しっかり続けられるのは本当に立派なことです。

サッカー日本代表の森保一監督が、ワールドカップへの意気込みを問われた際、「凡事徹底」という言葉を掲げました。その精神のもと、日本代表チームが熱戦を繰り広げ、私たちに大きな感動や希望を与えてくれたことは記憶に新しいところです。

凡事徹底とは、「当たり前のことを徹底して行う」という意味です。一つ一つは決して難しいことはありません。

しかし、その誰もがができる簡単なことを徹底的に継続することで、やがて「当たり前ではない成果」へと結びつきます。「平凡の継続」こそが、人を「非凡」という高みへと成長させてくれます。

とはいえ、平凡なことを徹底するのは、言葉で言うほど簡単ではありません。人は誰しも、慣れてくるとつい横着になり、適当に済ませたいという気持ちが芽生えるものです。だからこそ、高い意識を持って継続できる姿は素晴らしいと感じます。

こうした姿は、傘の後始末に限ったことではありません。今学期の子どもたちの歩みを振り返ると、至るところに「凡事徹底」が見られました。

班長を先頭に整然と並んで登校し、道路を渡る時はしっかり手を挙げる。出会った人には進んで挨拶をする。清掃時間は自分の分担に黙々と取り組む。休み時間は思い切り遊び、授業が始まれば気持ちを切り替える。どれも日常の何気ない一コマですが、これらを毎日積み重ねられるのは、決して当たり前ではありません。

学校生活の基本を丁寧に行ってきた子どもたちを、心から称えたいと思います。こうした日々の確かな実践を通して、一人一人の大きな成長を実感することができました。

いよいよ夏休みが始まります。生活の舞台が家庭へと移り、子どもたちには時間のゆとりが生まれます。ぜひご家庭でも、家の手伝いなど、子どもが継続して取り組める「凡事」を一つ決めてみてはいかがでしょうか。家族の一員としての役割を持ち、それをやり遂げる経験は、子どもたちをさらに大きく成長させてくれるはずです。

最後になりますが、今学期も本校の教育活動に変わらぬご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。充実した夏休みを過ごし、2学期に一回り成長した子どもたちと元気に再会できることを楽しみにしております。

いろいろな分野の方々から学ぶ

今学期も外部講師の方々を招き、教育活動を展開しました。専門的な知識や技能を指導していただくことで、子どもたちの学びが一層深まりました。また、貴重な出会いをさせていただきました。主な各学年の様子を紹介します。（複数の学年で行った学習もあります）

2年生 石鹸づくり(学年行事)



3年生 ダンス(学年行事)



6年生 税金の学習



5年生 歯科衛生の学習



4年生 車椅子の学習



1年生 鍵盤ハーモニカの学習



スマイルウィーク活動紹介

6月下旬から7月上旬にかけて、スマイル班で遊ぶ「スマイルウィーク」と、その振り返りの「スマイルメモリー」を行いました。

1年生から6年生まで混じった班で遊ぶ内容を相談し、遊びの後は各自の感想をスマイルカードに記述しました。スマイルメモリーでは、持ち寄ったスマイルカードをもとに、感想の交流を行いました。



安全で有意義な夏休みに

夏休みが始まります。お子さんにとって有意義な夏休みになるように願っています。

夏休み中に交通事故や大きなけがや入院などがあった場合は、学校（時間外などの場合は教育委員会）にご連絡いただけますようお願いいたします。

1. 燕北小学校 0256-63-4051

2. 燕市教育委員会 080-8750-2925 ※夜間・早朝など、緊急の場合